

平成30年6月18日
 東日本高速道路株式会社 東北支社

「原発事故による警戒区域等からの避難者に対する高速道路の無料措置」

～平成30年7月1日(日)からふるさと帰還通行カードによる通行に変更～

切り替えがお済みでない方はお急ぎください！

NEXCO東日本東北支社(仙台市青葉区)は、原発事故による警戒区域等からの避難者に対する高速道路の無料措置の利便性向上のため、対象者に新たにカードを発行することとし、各市町村において平成29年12月22日より順次、カードの申込受付を開始し、東日本高速道路株式会社においてカードを発行してまいりました。カード化により、料金所を先頭とした混雑が概ね解消しました。

平成30年6月末までは、従前からの被災証明書等の提示による通行方法も可能としておりましたが、平成30年7月1日からはカードによる通行へ完全移行するため、まだカードをお持ちでない方は、東日本大震災発生時に居住されていた福島県内の各自治体窓口へ、お早めにお申込みくださいますようお願いいたします。



※ふるさと帰還通行カードの発行には事前のお申込みが必要です。利用申込書は、福島県内の各料金所またはNEXCO東日本コーポレートサイト専用ページよりダウンロードすることも可能です。詳細はNEXCO東日本コーポレートサイト専用ページをご確認いただくか、「NEXCO東日本お客さまセンター」または東日本大震災発生時に居住されていた自治体窓口へお問い合わせください。

《参考》

料金所における混雑状況の変化 常磐富岡料金所 午前 7 時の様子

※料金所を先頭とした混雑(約300m)が発生していましたが概ね解消されました。



(混雑時の様子)

⇒



(解消後の様子 6/2 カード利用率約 85%)

原発事故による警戒区域等からの避難者に対する高速道路の無料措置

1. 対象車両

- ①対象者：原発事故による避難者（被災時に警戒区域^{※1}等を生活の本拠としていた方、及び居住地が特定避難勧奨地点の設定を受けた方）
- ②対象車種：全車種（避難者が運転又は同乗している車両）
- ③対象走行：福島県内等の対象インターチェンジを入口又は出口とする走行

- ・ 出口料金所で「ふるさと帰還通行カード」を提示する必要があります。
- ・ 入口料金所、出口料金所では一般レーンを通行する必要があります。
- ・ ETC無線走行では無料措置されません。また、スマートIC（ETC専用IC）から出入りした場合は無料となりません。
- ・ 首都高速、東京外環道など、東北地方のNEXCO東日本路線と一体で料金を徴収されない高速道路は対象外です。

（※1）警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定されている、又はされていた区域（下表の区域）

浪江町／双葉町／大熊町／富岡町／楡葉町／広野町／葛尾村／川内村／飯舘村 全域	
南相馬市のうち、右記の区域	小高区／原町区／鹿島区小島田／鹿島区塩崎／鹿島区大内／鹿島区烏崎／鹿島区川子／鹿島区南右田／鹿島区江垂／鹿島区寺内／市内国有林磐城森林管理署 2004 林班から 2087 林班まで、2088 林班の一部、2089 林班から 2091 林班まで、2095 林班から 2099 林班まで、2130 林班
田村市のうち、右記の区域	都路町／船引町横道（中山字小塚、中山字下馬沢を含む）／常葉町堀田／常葉町山根／市内国有林福島森林管理署 251 林班の一部、252 林班、253 林班の一部、258 林班から 270 林班まで、283 林班から 300 林班まで、301 林班から 303 林班までの一部
川俣町のうち、右記の区域	山木屋／町内国有林福島森林管理署 161 林班から 165 林班まで、167 林班

2. 対象インターチェンジ

路線名	対象インターチェンジ
東北自動車道	国見、福島飯坂、福島西、二本松、本宮、郡山、郡山南、須賀川、 矢吹、白河、加須 ^{かそ} ※2、福島ジャンクション
磐越自動車道	いわき三和、小野、船引三春、郡山東、磐梯熱海、猪苗代磐梯高 原、磐梯河東、会津若松、会津坂下、西会津
常磐自動車道	山元、相馬、南相馬、広野、いわき四倉、いわき中央、いわき湯 本、いわき勿来、桜土浦 ^{なこそ} ※2、常磐富岡、新地、浪江

(※2) 福島県双葉郡双葉町からの避難者に限り対象となります。

3. 出口料金所で提示が必要な書面等

入口料金所で受け取った通行券とあわせて、東日本高速道路株式会社が発行する「ふるさと帰還通行カード」の提示が必要となります。

対象インターチェンジ

- : 対象インターチェンジ
- : 特定避難勧奨地点

